



を怠らないようにしてい
ます。ただ、織物の仕事
関係だけでなく、何にで
も興味があつて、いろいろ
試作しますが、なかなか
か商売には結びつかない
ところが欠点です。

纖維部会 視察研修

2月24日～2月25日で1泊2日の繊維部会の視察研修に参加してきました。視察研修場所は綿を主体とする先染め織物、播州織で有名な兵庫県西脇市の「繊維工業技術支援センター」です。

ここはNHKの番組「プロフェッショナル」でも紹介された、世界初の多品種小ロット織物生産システム「アレンジワインダー」を開発した片山象三さんが取り組んだ場所でもあり、その機械を実際に見れるところで期待をしておりました。講演会は、同センターとタイアップして商品開発を進めている洋裁学校の生徒さんが自作した洋服のプレゼンがあり、若者から伝統技術者まで広い世代との取り組みの紹介がありました。片山象三さんの講演では「アレンジワインダー」の開発がなぜ必要だったか?の時代背景から、開発に携わった方々の苦労話、台風の大雨で開発中の機械がダメになり途方に暮れること、それでも個々の方々支援応援で乗り越えた苦労話から、NHKの番組の撮影裏話や、平成17年8月に受賞した「ものづくり日本大賞 内閣総理大臣賞」授与式の話を楽しく聞かせて頂きました。又、本題の開発した「アレンジワインダー」では、その性能を利用した商品や現在開発中、今後活用できそうな分野まで幅広い取り組みを紹介して頂き、とても勉強になりました。講演後は、同センター内の設置の「アレンジワインダー」を実際に稼動させた状態で見学をさせていただきました。なめらかな動作で別の色糸を切ってはつないでいく様は、研修会参加者全員の目を釘付けにしました。機械の実演見学中も片山さんには研修会参加者からの質問応答が滞在時間ギリギリまで続きました。作りたいこと、やりたいことへの熱い取り組みの講演、機械の実演見学から多くのことを学べた研修会でした。

最後に大変お忙しい中、講演、機械見学までお付合いいただきました片山様にお礼申し上げたいと思います。ありがとうございました。

2日目はHAT神戸／人と防災未来センターで見学しましたが、昨年の3.11もあり多くの見学者で、防災への関心の高さを感じました。その後の灘の酒蔵・菊正宗記念館の見学でも震災で酒蔵が壊滅したこと、復興の経緯など説明を受けあらためて考えさせられました。これは二つ目の研修課題か。（三宇昌彦 三宇製紐）

小泉 例えはどんなことに
ただ、織物をつく
ついてもつまらないので、何でも研究したいという
探究心を活かして、色々と取組んでいます。例え
ば学童が被る黄色の帽子ですが、内側に「銅の布」
を織り込んであります。

岡田 それはなぜですか。

小泉 銅には電磁波を力

小泉 そうかも知れませんが、なかなかいいアイデアが浮かばないものですから。今ある素材で商品開発や加工ができればと思っておりますので、何時も周囲にアンテナを張つて、日々の研究開発心

岡田 その通りですね。本日はお忙しい中、貴重なお話をお聞かせ頂きまして、誠にありがとうございました。小泉さんの研究心に本当に感銘し参考となりました。今後の御社の益々のご発展と今後のご活躍をお祈りいたします。

岡田 ところで、小泉さんは日頃から本当に研究熱心な方の様にお見受けしますが。

ンはご存知ですか。パソコンとかIH調理器から発生する電磁波から身体を守るエプロンですが、それと同じものです。子供の頭を様々な電磁波から守るためにのです。その他に乳児用の蚊帳なども試作中です。

小泉 会に望むことはありますか。

活性化の火付け役、まため役としての商工会の役割は、今後益々重要視されてくると思います。「活力ある地域づくり」を基本にかほく市の魅力を積極的に発信してくれるこ

とを期待しています。

サービス部会 視察研修

2月27・28日、一泊二日で京都方面の視察研修を実施いたしました。京都の観光と言えば、お寺めぐり。三十三間堂、清水寺、祇園散策、南禅寺、真如（しんによ）堂、金戒（こんかい）光明寺、大原三千院の7ヶ所を周り、京都の歴史と伝統を改めて感じた研修でした。特に印象に残ったのが「真如堂」です。この寺の檀家は三井家（三井財閥）だけ、三井家の菩提寺で三井各家累代の墓があり、300年以上にわたり祭祀が続けられているそうです。通常、お寺は沢山の檀家を持ち運営されていますが、財閥が檀家になるとスケールが違いますね！

